しっかり備えて楽しく登山

「山滴る」とは、草木の葉で覆われて緑が滴るように見える夏の山を形容する言葉 です。俳句の季語として使われることもあります。

近年、アウトドアブームや健康志向、インバウンド需要の高まりなどで、登山者 は増加傾向にあります。しかし、その一方で登山中の事故が多く発生しています。 登山の事故は下山中に起きることが多いといわれています。夏の楽しい思い出にな るよう、登る前の準備をしっかり確認し、最後まで気を抜かないようにしましょう。 **胆消防署 695-2119**

入念な準備は安全な登山への第一歩

ゆとりをもった登山計画を

山岳情報や気象情報を事前に入手し、経 験、技術、体力に合った登山計画を立ててく ださい。日没になる前に余裕を持った下山を 心がけましょう。

登山計画書を作成することは、事故のない 安全な登山に必要不可欠です。また、万一の 捜索時に有効な資料となります。場所によっ ては登山計画書の提出が義務化されている場 合があるため、提出先や提出方法をあらかじ め調べておきましょう。

なお、登山計画書に決まった様式はありま せんが、次の項目は必ず記載してください。

- ◆登山者の名前、住所、携帯電話番号など
- ◆緊急の連絡先
- ◆登山日程(各ポイントに到着する予定時間など)
- ◆目的の山の名前
- ◆登山方法
- ◆行動予定(地図や略図などで登山ルートを表示)



ISEHARA

足りていますか? 緊急時に役立つ登山グッズ

本格的な夏山シーズンを迎え、登山計画を 立て、道具を準備する時間も楽しみの一つで す。しかし、緊急時に必要な道具はそろって いるでしょうか。登山中、トラブルは突然や ってきます。けがや病気で動けない、道迷い や急な天候の変化で日没までに下山できない などが起きるかもしれません。登山に必要な 装備に加え、いざというときに、命を守って くれる道具もしっかりそろえておきましょう。



🗹 持ち物チェックリスト

行き先にあわせて、観光情報などから必要なものをチェックしてください。

服装		一般携行品			積雪期
□帽子・ニット帽	登山靴・トレッ キングシューズ	□リュックサック	携帯電話 ※予備バッテリーも	──携帯トイレ	アイゼン
長袖シャツ	靴ひも予備	レインウェア	飲料水※冬場は暖かいものも良い	ツェルト(非常用の簡易テント)	ピッケル
長ズボン	替え下着類	地図・ガイドブック	携行食		オーバーグローブ
□防寒着			ヘッドランプ		サングラスまたは ゴーグル
手袋		□コンパス	数急用品	- ヤマビル忌避剤	
スパッツ・ゲイター		GPS	非常食*	クマよけの鈴・撃退スプレー	
厚手の靴下		ストーブ・ライター ※非常用	身分証明書·健 康保険証		
*携行食とは異なり、原則は食べずに持って帰る非常用の食料					

山岳救助、その現場から

市が管轄する山岳地で救助が必要な事案が発 生した場合に出動する、市消防署救助隊に救急 現場の実情を聞きました。

迅速かつ安全に救助を

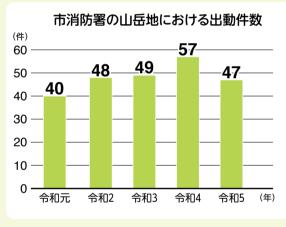
山岳地で救助に当たる際は、基本的に救助 隊・消防隊・救急隊の3隊編成、約10名が出動し ます。そこに伊勢原警察署山岳救助隊の数名が 加わります。また、大山の中腹付近から山頂の 間では、必要に応じて伊勢原市山岳救援隊(民 間の山岳救援隊)にも出動を要請しています。

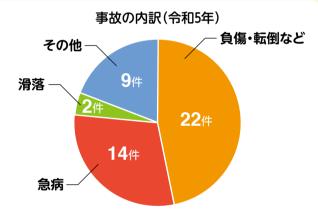
山岳地では、主に傷病者の応急処置と病院へ の早期救急搬送につながるよう、安全に救急車の もとへ搬送します。搬送手段は傷病者の病状や体 型、体重を考慮し、状況に応じて使い分けていま

また、搬送困難な 場合や比較的緊急 度が高い事案は消防 防災ヘリコプターや 警察ヘリコプターを 要請し対応していま



練を行っています





消防合同へリコプター訓練

市消防署では、川崎市と横浜市の消防局航空 隊と山岳救助・火災事案を想定した消防防災ヘリ コプターによる合同訓練を行っています。

ヘリコプターは、上空からの情報収集や空中 消火用バケツを用いた消火、山岳救助活動など に活用されます。本市では、主に大山で発生し た山岳救助において、「神奈川県下消防相互応援 協定」に基づき、川崎市・横浜市消防局航空隊の ヘリコプターを要請しています。

大山まで約20分で飛来することができます※ そのほか、神奈川県警察航空隊へ要請すること もあります



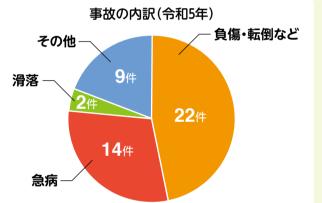
ヘリコプターで担架を引き上げる訓練

市消防署の救助隊メンバー

山を甘く見ないことが大事

市消防署の山岳地における出動件数は令和5 年に減少しているものの、年々増加傾向にあり ます。事故の内訳のうち、最も多いものは転倒 して負傷することです。それに次いで、疲労や 足がつって自力で下山できないなどの急病事案 が多くあります。大山は日帰りで登れる山とし て知られていますが、ハイキング気分で登れる ほど甘くありません。傾斜がきつく岩も多いた め、スニーカーでの登山は危険です。

また、近年は登山道の荒廃化が進み、一部の 道で土砂崩れが発生した痕跡があり、下山して いると登山道に見えてしまうことがあります。 状況をよく確認して通るようにしましょう。



山の日にあわせて キャンペーンを行います 登山者事故防止啓発キャンペーン

登山者の事故防止啓発ハンドブックやチ ラシ(ポケットティッシュ)を配布し、事故

(伊勢原市)

と き 8月9日(金)~12日(月)の午前7時 ~8時、午前9時~10時

ところ 市営大山第2駐車場付近 山岳遭難事故防止キャンペーン (伊勢原警察署)

防止の呼びかけを行います。

「登山は楽しく安全に」をスローガンに、 伊勢原警察署主催で行います。登山時にお ける注意喚起や登山計画書の重要性を周知 します。

と き 8月10日(土)午前9時~ ※雨天時は11日(日)

ところ 大山阿夫利神社下社

内 容 ◆伊志田高校山岳部1日救助隊員

◆山岳救助デモンストレーション◆山岳合 同パトロール◆安全登山祈願◆山岳救助活 動パネル展示 ほか

問伊勢原警察署**⋒**94-0110

万一の事故にも落ち着いて対処しましょう

通報時の目印をご存じですか

市が管轄する登山道内には、山火事や滑落事 故などへの注意喚起を促す看板を設置していま す。1~55の番号を表記した「通報番号看板」を55 カ所、A~Eの記号を表記した「通報記号看板」を 5カ所に設置しています。事故発生時に登山客 が現在地をより正確に消防や警察へ伝えること で、迅速な救助活動につながります。

また、大山登山道には阿夫利神社下社から山 頂にかけ、古くから予賞器(1丁ごとに目印とし て建てられた石碑)が建てられています。登山の 際には、改めて確認し、より正確な通報にご協 力ください。



千本杉の丁目石

映像通報システムLive119

す。119番通報では伝えることが難しい災 害現場の状況を、映像やGPSにより正確に 伝えることができます。

また、心肺そ生法などが必要な緊急性の用できない場合があります 高い事案は、通信指令員が通報者に対して

スマートフォンを使った通報システムで 映像を確認しながら応急手当のアドバイス を行うことができます。そのため、より効 果的な救命処置につなげることができます ※山岳地の一部では電波が届かないため利

週消防管理課95-2119



急病人や事故発生など◇119番通報



通信指令員が撮影の協力依頼令携帯の電話番号を聴取





電話番号宛てにショートメールでURLが送られる URLにアクセスし、傷病者や周囲の状況を撮影

よくある質問にお答えします

🔾 だれが利用できますか

スマートフォンからの通報であればどなたでも利用できます※映像通信にかかる通 A 信料は通報者負担となります

○ アプリのダウンロードは必要ですか

A 本サービスの利用にアプリのダウンロードや事前登録は不要です

💽 どのような場面で使用しますか

🤼 火災や交通事故などの災害現場の特定、急病人に対する心肺そ生法やけがに対する

💽 映像通報の協力を求められたら、拒否はできますか

本サービスの利用は、通報者の安全の確保が前提となります。安全が確保できない場合などは拒否していただいて構いません